



平成29年4月8日(土)

# 藤 棚

第336号  
入学式特別号

狭山ヶ丘学園 学校通信

<http://www.sayamagaoka-h.ed.jp/>  
<http://www.sayamagaoka-h.ed.jp/js/>

## 平成29年度入学式辞(要旨)

校長 小川義男

入学おめでとう。

高等部 406 人 中等部 47 人それぞれ難関を突破しての合格 入学を心から歓迎する。 中等部は定数 80 人を下回る人数だが、今年は選考基準が六割を超えるという基準であったため、集まってくれた俊才の半数のみが合格できるという厳しい基準だったためである。

高等部は、歴史と伝統が確立している中で、定数 400 を超える入学者となった。共に難関を突破してのご入学に心から敬意を表したい。中等部はこれからの六年間、高等部は大学入試を控えての三年間を、この学舎で過ごす事になる。人生で最も大切に思い出深い期間を、諸君と共に過ごす事ができる。我々教職員は、誇りと責任感を持って、諸君との学園生活を充実させて行きたいと思う。

先ずスマホに支配されることのない学園生活を送って貰いたい。スマホのゲームに時を過ごすなどは論外である。スマホによる対話すら、極力、自粛して貰いたい。スマホの向こう側にいるのは、立派な人物であるとしても、ごく普通の人々である。教師と言えども、その例外ではない。

活字を媒介として先哲と交われ。それが、入学劈頭、私が諸君に強くお願いしたいことである。

読書とは、寂しい時に孤独を慰め、人生に迷ったときには、進むべき道をしっかりと示してくれるものだ。嫌になったらぱっと別れられるではないか。私が尊敬する菊池寛は、「文芸は、実人生の地理歴史」と語っている。生きる上で、最高の先生は活字なのだ。片々たる俗悪テレビなどに毒されてはならない。

友情は美しいものではあるが、友情に頼り切ってはならぬ。深みのある孤独は、なまかなかな友情に勝ると知れ。

私は難関入試に合格して中学校に入学したとき、友人が一人もいなかった。校歌の一節に、「稲田につきの青き夕 友よ睦みて語らわん」という一節があった。夕方、二階の窓から外を見ながら、校歌を歌っていて、その一節まで来たときに、泣いていたものである。

しかし、孤独を恐れるな。空に雲が流れ、風が木々の葉を揺すり、夜には天の川が広がる。人生は、それだけで生きるに値する。しかし、友は必ず現れるものである。友を獲得する上で一番大切なのは、自分以上に相手を大切にすること、もうひとつは、相手の求めや願いを受け入れられないときは、拒否の意思をはっきりと示すことである。寂しい時には教師を訪ねると良い。校長室にも来てくれると嬉しい。

語学研修 修学旅行等で、外国に出ることも多い。イスラムゲリラの破壊活動が続き、高等部でも、フランス、イギリスへの旅行は難しくなった。安全なニュージーランド、ハワイ等を検討しているが、このような世界秩序の混乱は悲しいことである。

しかし、恐れてはならない。諸君に確信を持って伝えておくが、ゲリラが正規軍に勝つ事は絶対がない。パレスティナ問題自身が、白人列強のエゴイズムから生まれたものなのであるが、これは入学後世界史の勉強で、しっかり研究して貰いたい。シリアのテロ集団は必ず覆滅するし、世界には再び安定した時代が戻ってくる。尖閣諸島に対する領土の野心を抱く近隣大国、朝鮮半島の軍事的圧力等も、世界の良識の中で必ず解決されるであろう。北方領土は千島樺太交換条約で獲得された日本固有の領土である。たとえ千年かかろうと、断じて取り返さなければならぬ。寸土を奪われて怒る事を知らぬ民族は、やがて本土をも失うのである。

諸君は、将来確実に偉くなるであろうが、学問は己一人のためのものではない。その知性と力量は、国家、国民のために生かして行かなければならないのである。

学校を休むな。朝起きて、「今日は行きたくないな」と思う日もあるかも知れぬが、それが、自己内面の弱さとの戦いである。怠け心を振り切って、学校へ向かわなければならぬ。三年間皆勤、六年間皆勤、これ以上に素晴らしい事は、世の中にはない。頑張ってくれ。

本日のご来賓の皆様が、ご多忙の中式典に参加して下さった事を深く感謝申し上げます。

保護者の皆様、お子様は確かにお預かりした。三年後、六年後に、見事に成長した姿でお返しすることをお約束する。

学校は大組織であり、時にご迷惑をおかけすることもあるかも知れぬ。ご寛恕賜り、よろしくご協力下さる事をお願い申し上げます。

また、五月頃になると思うが、PTA 後援会等の役員選出にも、よろしくご協力下さる事をお願い申し上げます。

新入生諸君、自らに厳しく、己の可能性を最大限に活用するため、苦勞を惜しまず闘い抜け。人間に生まれついでる能力差などないのだ。



# 入学に寄せて

第1学年担当教員からのメッセージです。



## 【付属中学校】

**教頭・1組担任 山崎 正和**

入学おめでとう。これから始まる6年間は単なる6年間ではない。君自身の「人間性」が確立される6年間だ。物心がついて大人になるこの時期をいかに過ごすかで、君たちの「人間性」が決まる。君自身の個性・社会性・道徳観・粘り・計画性・リーダーシップ等がここで固まってくる。日々、高い次元の人間を目指し、全力で努力せよ！

**2組担任 高木 駿**

47名の新入生の皆さん、入学おめでとう。この学年は、先輩たちの学年よりも人数の少ない学年です。6月の体育祭や11月の合唱コンクールのときにその違いを実感するでしょう。クラスの人数が少ない分、教室内での一人一人の責任は大きくなりますが、充実した学校生活を送れるように、日々小さな努力を重ねましょう。

**副担任 福嶋 さよ**

入学おめでとうございます。これから新生活が始まります。みなさんにはこの学校で積極的に様々なことにチャレンジして欲しいです。学校生活で経験したことは、必ず自分自身の力になるはずで。また、何を目標とし、どう行動したかでその後が変わっていくのではないのでしょうか。今後の活躍を期待しています。

**副担任 神田 菜由子**

初めまして。4月から皆さんの英語の授業を担当することになった神田菜由子（かんだまゆこ）です。中学生生活という新たなスタートを切って期待と不安もあると思いますが、最大限サポートしていきたいと思っています。これから色々な行事などを通して沢山の思い出を共有していきましょう。これからよろしくお祈りします。

**副担任 美尾 涼平**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。新しい環境で始まる新しい生活に期待と不安があると思います。素敵な学校生活を送れるように、たくさん友達を作って、勉学に部活に文武両道で頑張ってください。

## 【高等学校】

**学年部長・J組担任 船戸 昭洋**

入学おめでとうございます。君たちは今日、新たな一步を踏み出しました。その先には無限の可能性が広がっています。努力次第で君たちは何にでもなることができます。ただし、そのためにはこの高校3年間で多くの事に挑戦し、成功と失敗を繰り返しながら成長することが必要です。部活や勉強など目標をしっかりたてて頑張ろう。

**学年副部長・E組担任 大江 基史**

新入生諸君、入学おめでとう。「たったひとりしかいない自分のたった一度しかない人生を、ほんとうに生かさなかつたら、人間、生まれてきたかいがないじゃないか。」山本有三の『路傍の石』の一節です。これからの3年間、是非、直向きに過ごしてください。諸君の高校生活が充実した、実り多いものでありますように。

**A組担任 後藤 礼於奈**

入学おめでとうございます。私が君たちに期待することは、狭山ヶ丘高校を卒業する時に、充実した悔いの無い高校生活だったと思えるような3年間を過ごすということです。そのために、高校生として日々何をすべきかを考え、失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦してください。素晴らしい3年間にしましょう。

**B組担任 濱田 舞美**

入学おめでとう。入学するまでに、たくさんの努力をしてきたことでしょう。しかし、努力をやめてはいけません。明るい未来は、苦しいことに耐えて、一生懸命に努力した人にもみぞ待っているのです。何事にも全力で臨んでいけば、必ずよい未来が待っています。期待しています。

**C組担任 中村 将之**

入学おめでとうございます。これから今まで以上に様々な困難が待ち受けています。しかし恐れる必要はありません。何事にも挑戦する勇気と地道に努力を積み重ねる姿勢を持ち続ければ、必ず乗り越えられます。自分を信じて、また共に過ごす仲間を信じて高校3年間に有意義なものにしましょう。

**D組担任 間野 直人**

入学おめでとうございます。大きな希望と不安を胸に入学したことと思います。これからの高校生活ではさまざまな経験をしましょう。失敗することを恐れず何事にも挑戦して下さい。しかし、それを成功させるためには努力の積み重ねが必要です。ぜひ「努力と挑戦」を心に留めて、高校生活を充実したものにしましょう。

#### **F組担任 渡邊 南美**

入学おめでとうございます。これからの3年間、失敗を恐れず、多くのことに挑戦して行って下さい。挑戦には成功と失敗がつきものですが、失敗から学ぶこと、得られることもあるのです。そして皆さんの周りには支えてくれる多くの人たちがいることを忘れないで下さい。3年間で多くのことを吸収し、大きく成長することを期待します。

#### **G組担任 平 研一**

皆さんご入学おめでとうございます。いよいよ今日から新生活のスタートです。高校生活への期待と不安が入り混じった、今日の心地よい緊張感を、どうぞ忘れないでください。これから様々な出会いを大切にし、相手を思いやることを忘れなければ、一生の友人となるはずです。皆さんにとって最高の高校生活が送れますように。

#### **H組担任 三竹 大介**

入学おめでとうございます。高校生活は、中学校時代より大変だと思うこともたくさんあると思いますが、失敗を恐れず何事にもチャレンジしてみてください。人は失敗した数だけ成長出来ます。また、決意と希望に満ちた「初心」の気持ちと「感謝」の気持ちを忘れずに3年間を歩んで行きましょう。

#### **I組担任 村谷 真紀**

入学おめでとう。皆さんは高校生活のスタートラインに立ちました。高校3年間は自分の人生をどのように送りたいかを模索する非常に大切な時期です。視野を狭め自らの可能性を自らの手で摘んでしまわないように、素直な心を失わず、何事に対しても積極的に取り組み、様々な知識や技術を習得し、自らの実力で将来を切り開いていく力を身につけてください。人生に一度しかない高校生活を後悔しないように全力で頑張ってください。

#### **K組担任 引地 美果**

入学おめでとうございます。自分の人生は自分で切り拓くものです。自分で選んだ狭山ヶ丘高校という場所で、これから始まる3年間という限られた時間を1秒も無駄にすることなく過ごして下さい。集団に埋もれず、周りに流されず、自律した高校生活を送りましょう。そして、失敗を恐れずたくさんすることに挑戦して下さい。

#### **教務部長・副担任 飯村 高宏**

現代は、グローバル化した社会である。多くの国々から大量の物資や人々が流入し、日本からも頻繁に出て行く。斯（か）くわが国は、先端的な科学技術で世界をリードしてきたのである。我々の暮らしは、豊かになった。だが、如何なる時代や場合にあっても「感謝」は忘れてはならない。より良い人間関係を形成するカギがここにはある。

#### **渉外部長・副担任 伊藤 孝文**

竹には節があるからこそ、強風や重い雪にも負けない強さ、しなやかさを持つのです。苦労や困難という「節目」から逃げずに一日、一週間、一か月というスパンで短期目標を立て、それを着実に達成する喜びの中に成長があります。竹のように成長点を日々刺激して、一気に大きな成長を遂げる、「節」のある充実した3年間にしてください。

#### **副担任 山田 将之**

入学おめでとうございます。いよいよ楽しみにしていた、高校生活が始まりますね。早く学校に慣れて、多くの友だちを作って楽しい高校生活を送って下さい。あっという間の3年間なので、目標を持って何事にも恐れず取り組んでみましょう。

#### **副担任 水口 花織**

入学おめでとうございます。きっと期待に胸を膨らませていることでしょう。みなさんはこれから自分の進路について考える大切な時期に入ります。この3年間で多くのことを学び、経験し、多角的な視点で自分の未来を見つめてください。そして、自信に溢れた3年間を過ごせるよう頑張ってください。

#### **副担任 櫻川 俊貴**

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新生活が始まり、期待と不安でいっぱいだと思います。高校3年間はあっという間です。これから、楽しいことや辛いことたくさんあると思いますが、一生に一度の高校生活、悔いのないように頑張ってください。

#### **副担任 戸田 吉信**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。君たちにはこれから新しい生活が待っているでしょう。実は私も今年から狭山ヶ丘高校に赴任しました。よき学校生活となるよう互いに協力して行きましょう。